

Ⅱ ペテロ結晶の学び#1:神聖な性質にあずかる者、神聖な命と神聖な性質の発展、それは永遠の王国へと豊かに入ることのためである4/26-5/2

I. 同じ尊い信仰を受けた者として、私たち、キリストにある信者は、神聖な性質にあずかる者となるべきです:

A. 神聖な性質は、神が何であるか、すなわち、神の存在の豊富、要素、構成要素を指しています。

B. 神聖な命と神聖な性質は分離することができません。神聖な性質は、神聖な命の実質であり、また神聖な命の中にあります。

C. 私たちは神の子供たちとして、神・人であり、神から生まれており、神の命と性質を所有しており、神の種族に属しています。**1.** 私たちの再生の時、別の性質が私たちの中へと分け与えられました。これは神の性質、神聖な性質です。**2.** 神聖な性質は神聖な命の中にあるので、神聖な命(私たちはこの命をもって再び生まれました)には、その内側に神聖な性質があります。**3.** 神の御子の中へと信じる者はだれでも神から生まれており、神の子供となる権利を持っています。ですから、信者は神の性質にあずかり、それを享受する権利を持っているのです。

D. 神聖な性質にあずかる者は、神聖な性質を享受し、神聖な性質に分を持つ者です。**1.** 神聖な性質にあずかることは、神が何であるかを享受することです。神聖な性質にあずかる者となることは、神の存在の豊富、要素、構成要素にあずかる者となることです。

2. 私たちは神聖な性質にあずかる者になろうとするなら、神聖な命(この命の内側には神聖な性質があります)によって生きる必要があります。

E. 私たちは神聖な性質の豊富を、神の尊く、際立って偉大な約束を通して享受します。

F. 神聖な性質にあずかる者となることには、条件があります。それは、私たちが情欲によるこの世の腐敗から逃れることです。私たちは逃れることとあずかること、あずかることと逃れることの循環の中に、生きる必要があります。

G. 私たちは神を享受し、神聖な存在の豊富にあずかるなら、神聖な性質で構成され、神格においてではなく命と性質において神と同じになり、私たちであること、また行なうことすべてにおいて神を表現します。

H. 私たちが神聖な性質にあずかり、神であるすべてを享受するとき、Ⅱ ペテロ1:5~7で記述されているように、神聖な性質の豊富は完全に発展します。』

Ⅱ. 私たちは、神聖な命と神聖な性質との発展を経験する必要があります。それは神聖な種の中に含まれており、その種は私たちの中にすでにまかれており、私たちが永遠の王国へと豊かに入らせます:

A. 私たちは、すばらしい、同じ尊い信仰をすでに割り当てられました。この信仰はすべてを含む種です:

1. すべての神聖な豊富はこの種の中にありますが、私たちは勤勉になってそれを発展させなければなりません。成長して円熟することは、私たちがすでに持っているものを発展させることです。**2.** これらの美德を発展させることによって、私たちは命において成長し、最後には円熟に達し、キリストに満ち、資格づけられ、装備されて、来たるべき王国で王たちとなります。

3. 私たちは、完全な発展と円熟を持つ必要があります。それは信仰という種からであり、美德と知識という根、自制という幹、忍耐と敬虔という枝を通してであり、兄弟愛と愛という開花と実に至ります。

B. 信仰に美德を供給するとは、同じ尊い信仰を活用して、美德(活力のある行動を生み出す神聖な命のエネルギー)を発展させることです。この信仰は活用されて、神聖な命の美德が発展して次の段階に至り、円熟に達する必要があります。

C. 美德は、神と私たちの主イエスに対する知識のあふれるばかりの供給を必要とします。私たちが美德の中で発展させるべき知識は、神と私たちの救い主に対する知識、神のエコノミーに対する知識、信仰とは何であるかに対する知識、神聖な力、栄光、美德、性質、命に対する知識を含みます。

D. 自制は、情感、願望、習慣における制御の訓練、自己の抑制です。そのような自制は、命における正常な成長のために、知識において訓練される必要があります。

E. 忍耐を訓練するとは、人と環境を耐え忍ぶことです。

F. 敬虔は、神のようであって神を表現する生活です。

G. 兄弟愛(フィラデルフィア)は、兄弟の愛情、喜びと楽しみで特徴づけられる愛です。神の表現である敬虔に、この愛が供給される必要があるのは、兄弟の関係を維持するため、この世に対する私たちの証しのため、実を結ぶためです。

H. 私たちの内側にある神聖な性質の究極の発展は、愛、すなわち「アガペー」です。このギリシャ語の言葉は、新約で、神聖な愛、すなわち、神が彼の性質において何であるかに対して用いられています:

1. 私たちの兄弟愛は、さらに発展して、さらに高貴で、さらに崇高な愛に至る必要があります。

2. 私たちは神聖な性質を享受するとき、割り当てられた信仰という神聖な種を発展させ、神聖でさらに高貴な愛において、その究極的完成に至る必要があります。

3. 私たちは神聖な性質に極みまであずかるとき、愛としての神で満たされ、愛の人、愛そのものとさえます。

I. 神聖な命の中で霊的な美德を発展させ、こうして神聖な命の成長において前進することは、私たちに對する神の召しと選びを堅固なものとしします。

J. 私たちは勤勉になって、神聖な命と神聖な性質との成長と発展を追い求め、永遠の王国へと豊かに入るべきです:

1. 私たちが神聖な命と神聖な性質との発展において享受する満ちあふれる供給は、私たちがあふれるばかりに供給して、私たちの主の永遠の王国へと豊かに入らせます。

2. この供給は、私たちが来たるべき王国へと入ることができることができ、また入る資格を与えます。それは、私たちの卓越した美德(エネルギー)としての、神聖な命と神聖な性質とのすべての豊富によってであり、神の輝く栄光へと至ります。

3. 表面的には、私たちが永遠の王国へと入ります。実は、永遠の王国へと入ることは、私たちの命における成長と、私たちの内側にある神聖な命の発展を通して、私たちに豊かに供給されるのです。

CP1:神聖な性質の完全な発展のために、十字架を経験し主に明け渡し、命のエネルギーを実生活に適用する

OL1:私たちは神の子供たちとして、神・人であり、神から生まれており、神の命と性質を所有しており、神の種族に属しています。ヨハネ1:12-13 **しかし、すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた。これらの人は血からではなく、肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのである。II ペテロ1:4** **彼はその栄光と美德を通して、尊く、際立って偉大な約束を、私たちにすでに与えてくださっています。それは、これらの約束を通して、あなたがたが情欲によるこの世の腐敗から逃れて、神聖な性質にあずかる者となるためです。**

神聖な性質とは、神の存在の豊富を示しています。ですから、私たちは神聖な性質にあずかるとき、神聖な豊富にあずかります。私たちは再生の時に神聖な命を受けましたが、さらに前進して、神の性質において神であることを享受しなければなりません。

私たちは神の純粋な御言に戻って、だれでも神の御子を信じる者は神から生まれ、神の子供となる権利、権威を持つと、人に告げる必要があります。このような者として、彼は神の性質にあずかり、神の性質を享受する権利を持っています。ですから、私たちは神の命を持ち、神の性質を享受しており、神の子供の地位を持っています。主を賛美します、私たちは神聖な性質にあずかる者となる地位、能力、備えを持っています！日ごとに、私たちは神の性質にあずかり、彼であること、すなわち、神の豊富な存在の構成要素を享受すべきです。

OL2: **私たちが神聖な性質にあずかり、神であるすべてを享受するとき、II ペテロ1:5～7で記述されているように、神聖な性質の豊富は完全に発展します。II ペテロ1:5** **まさにこのゆえに、勤勉の限りを尽くして、あなたがたの信仰に美德をあふれるばかりに供給し、美德に知識を、6 知識に自制を、自制に忍耐を、忍耐に敬虔を、7 敬虔に兄弟愛を、兄弟愛に愛を供給しなさい。I ペテロ1:8** **あなたがたは、その方を見たこともないのに愛しており、その方を今、見ていないのになお信じており、言葉では言い尽くせない、栄光に満ちた喜びをもって歡喜しています。**

私たちはこの腐敗から逃れれば逃れるほど、ますます神の性質を享受するでしょう。同じように、私たちは神聖な性質にあずかればあずかるほど、ますます情欲によるこの世の腐敗から逃れるでしょう。これは一つの循環、逃れることとあずかることと、あずかることと逃れることの循環です。...今や彼は第二の手紙で、彼らが情欲による腐敗を逃れることができるエネルギー、力と、この逃れることの結果を啓示しています。そのエネルギーは神聖な命の美德であり、その結果は神の神聖な性質にあずかること、三一の神である豊富のすべてを享受することです。神聖な性質にあずかることにおいて、また神であるすべての享受において、神聖な性質の豊富のすべては、1:5～7に記述されているように完全に発展するでしょう。この世の情欲の腐敗と、私たちの中の神聖な命の成長の妨げを逃れ、私たちは自由にされ、神聖な性質にあずかる者となって、神聖な性質の豊富をその発展の中で、神の美德によって彼の栄光へと完全な程度にまで享受します。

適用:新人及び青少年・大学生編

あなたが神から生まれ神の子供となったのは、あなたの家柄が良かったからではなく、人の墮落した意志からでもなく、人の善意からでもありません。神の子供になる権威は、あなたが主の御名の中へと信じることによるのみ与えられます。主を賛美します。この権威は神の命です。神の子供は神の命を持っており、神聖な性質にあずかる者となる地位、能力、備えを持っています。

私は私の父親の命、性質を持っており、父親と似た表現があります。私がそれを願っても願わなくても、私の人の命の成長に伴い、その表現は父に似てきます。同様に私たち信者は、神から生まれ、神の命を持っているので、命の成長に伴い、神聖な性質の豊富は完全に発展します。それは信仰⇒美德⇒知識⇒自制⇒忍耐⇒敬虔⇒兄弟愛⇒愛へと発展します。ここの美德は、強力な活動となる神聖な命のエネルギーを示しています。II ペテロ1:5は、勤勉の限りを尽くし、神聖な命のエネルギーと協力することが必要であると言っています。

例えばあなたは朝毎の復興の御言葉の祈り読みやメッセージを読む中で、神聖な性質にあずかり、自分が神のエコノミーの中の神聖な分与を良い道理として捉えており、実際の生活に適用できていないことが照らされました。あなたは御言葉とその照らしを享受し少し神聖な性質にあずかったのですが、実生活に適用しない習慣があるので、そこに留まってしまいました。これは勤勉の限りを尽くしていない、神聖な命のエネルギーの力に協力していない状況です。主があなたの古い習慣を照らしたのは、神聖な性質の発展において、あなたが更に前進するためなのですが、あなたは照らされること自体で満足してしまい、そこに留まっています。

兄弟の証: 私は1991年から約20年間、台湾からの同労者のメッセージの通訳を行いました。通訳をすることで、メッセージの内容をとっても享受しました。しかし私はメッセージで語られたことを自分が実行していないことに気づきました。そして実行しようと決心しましたが、やはり実生活や召会生活で適用していない自分を見出しました。私は真理を適用しない習慣があり、その悪い習慣を変えることは難しいことに気づきました。

私は次のように祈りました、「主よ、私をあわれんでください。台湾の同労者は代価を払って日本に来て特別集会で交わってくださいましたが、私は彼らの言葉を良い道理として受け入れるだけで、実生活に全く適用できていません。私はこのような状態に留まり続けることはできません。私の思いを開き、自分を明け渡します。思いを更新してください。私は古い習慣を伴う古い人を脱ぎ捨てたいのです」。このように祈ることで、真理を実生活に適用する恵みを受けて、十字架を経験して自分を明け渡し、徐々に適用することができるようになりました。祈り:おお主イエスよ、主を信じ受け入れた私は、神の子供として再生されました。内側の命を成長させて、神聖な性質の豊富を完全に発展させる必要があります。御言葉やメッセージにあずかって照らされながら、実生活に適用しない習慣に留まってははいけません。自分の意見を下ろして主に明け渡し、内側の照らしに従って前進できるように、私の内側で働く、神聖な命のエネルギーに、勤勉の限りを尽くして協力します。

CP2:信仰を活用して、神聖な命の美德(活力のある行動を生み出す神聖な命のエネルギー)を発展させる

OL1:私たちは、神聖な命と神聖な性質との発展を経験する必要があります。それは神聖な種の中に含まれており、その種は私たちの中にすでにまかれており、私たちを永遠の王国へと豊かに入らせます。

OL2:私たちは、完全な発展と円熟を持つ必要があります。それは信仰という種からであり、美德と知識という根、自制という幹、忍耐と敬虔という枝を通してであり、兄弟愛と愛という開花と実に至ります。

OL3:信仰に美德を供給するとは、同じ尊い信仰を活用して、美德(活力のある行動を生み出す神聖な命のエネルギー)を発展させることです。この信仰は活用されて、神聖な命の美德が発展して次の段階に至り、円熟に達する必要があります。

OL4:美德は、神と私たちの主イエスに対する知識のあふれるばかりの供給を必要とします。私たちが美德の中で発展させるべき知識は、神と私たちの救い主に対する知識、神のエコノミーに対する知識、信仰とは何であるかに対する知識、神聖な力、栄光、美德、性質、命に対する知識を含みます。Ⅱペテロ1:5-11 まさにこのゆえに、勤勉の限りを尽くして、あなたがたの信仰に美德をあふれるばかりに供給し、美德に知識を、…このようにして、あなたがたは豊かに、あふれるばかりに供給されて、私たちの主また救い主イエス・キリストの永遠の王国へと入るのです。FNあふれるばかりに供給し3~4節で私たちに与えられた神聖な力は、5~7節で発展します。信仰に美德を供給するとは、信仰を働かせて美德を発展させることです。同じことが、他のすべての項目にもあてはまります。

OL5:自制は、情感、願望、習慣における制御の訓練、自己の抑制です。そのような自制は、命における正常な成長のために、知識において訓練される必要があります。

OL6:忍耐を訓練するとは、人と環境を耐え忍ぶことです。

OL7:敬虔は、神のようであって神を表現する生活です。

OL8:兄弟愛(フィラデルフィア)は、兄弟の愛情、喜びと楽しみで特徴づけられる愛です。神の表現である敬虔に、この愛が供給される必要があるのは、兄弟の関係を維持するため、この世に対する私たちの証しのため、実を結ぶためです。

Ⅱペテロ1:6-7 知識に自制を、自制に忍耐を、忍耐に敬虔を、敬虔に兄弟愛を、兄弟愛に愛を供給しなさい。

私たちはいったん知識を得ると、容易に高慢になります。こういうわけで、私たちは知識に自制を発展させる必要があるのです。自制は制限を意味します。木が生長するとき、根は拡大しますが、幹はむしろ制限される様で上に生長します。これは、美德と知識の発展に伴って、私たちが自制と共に来る制限を必要とすることの例証です。6節のペテロの言葉によれば、私たちは自制に忍耐を発展させる必要があります。自制は私たち自身を対処することです。忍耐とは、他の人のこと、また環境のことで耐え忍ぶことです。正しいクリスチャン生活をするために、私たちは周りの人に対して、また私たちの周囲と環境に対して忍耐を必要とします。私たちは忍耐に、敬虔を発展させる必要があります。敬虔は、神のようであり、神を表現する生

活です。私たちが自己の抑制を訓練し、他の人や環境のことで耐え忍ぶとき、敬虔が私たちの霊的生活の中で発展させられる必要があります。それは私たちが神のようであり、彼を表現するためです。信仰が種であるなら、美德と知識は根であり、自制は幹、忍耐と敬虔は枝です。最後に、7節では開花と実としての兄弟愛と愛を見ます。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

信仰に美德を供給するとは、信仰を活用して神聖な命の美德(活力のある行動を生み出す神聖な命のエネルギー)を発展させて次の段階に至り、円熟に達することです。あなたが霊を活用し、信仰である主イエスに触れ、信仰を活用する時、神聖な命のエネルギーが働き、活力のある行動を生み出し、円熟に向けて前進させる力が出てきます。あなたは自分の努力で成長するのではなく、神聖な命と性質のエネルギーに協力することで成長するのです。

兄弟の証:仕事の中で、朝エンジョイした御言葉が内側に住んでいないことを照らされました。仕事が忙しくても、御言葉の享受の中で分与を受け続けることを決心しました。ところが仕事が忙しいので、朝仕事を始めて、夜帰路につくまで、いつもと同じように全く主を忘れてしまいました。そして帰宅している途中にそのことを思い出し、また心機一転して明日から頑張ることを主に約束しました。そのようなことが約一週間続きました。その後私は相変わらず自分が失敗しているので、失望しました。また主に約束したのに実行できていないことが恥ずかしくなり、どうやっていいのかわからなくなってしまい、ただ弱々しく主の御名を呼んでいました。私は情けなくなり、涙が出てきました。その時主は、「あなたは自分の力で成長することはできない。あなたの必要は、ただ内側の私の命の力に開き続けることである」と言っておられると感じました。主に感謝します。その後、徐々に、活力を生み出す命のエネルギーに協力して、内側の命の力によって、仕事を主と共にすることができるようになりました。

美德が発展するために、神と私たちの救い主に対する知識、神のエコノミーに対する知識、信仰とは何であるかに対する知識、神聖な力、栄光、美德、性質、命に対する知識が豊かに供給される必要があります。なぜなら霊の中の神の命が思いを通して魂の各部分に広がるからです。あなたの思いはキリストを知る知識で再構成され、引き上げられる必要があります。

この成長は信仰という種からであり、美德と知識という根、自制という幹、忍耐と敬虔という枝を通してであり、兄弟愛と愛という開花と実に至ります。あなたは主の回復の中の召会生活で成長する必要があります。

祈り:主よ、私は神聖な命の中で成長しなければなりません。そのために霊を活用し、信仰である主イエスに触れ、信仰を活用して神聖な命の美德(活力のある行動を生み出す神聖な命のエネルギー)によって神聖な性質を発展させる必要があります。主よ、私の思いをあなたに開き、あなたに明け渡します。信仰は種であり、美德と知識の根を生やし、自制という幹、忍耐と敬虔という枝、兄弟愛と愛という開花と実に至る成長を持たせてください。

CP3:信仰という神聖な種を発展させ、神聖でさらに高貴な愛において、その究極的完成に至る必要がある

OL1:私たちの内側にある神聖な性質の究極の発展は、愛、すなわち「アガペー」です。このギリシャ語の言葉は、新約で、神聖な愛、すなわち、神が彼の性質において何であるかに対して用いられています。

OL2:私たちは神聖な性質を享受するとき、割り当てられた信仰という神聖な種を発展させ、神聖でさらに高貴な愛において、その究極的完成に至る必要があります。Iヨハネ4:16 そして私たちは、神が私たちの中で持つておられる愛を知っており、また信じています。神は愛です。愛の中に住んでいる者は神の中に住んでおり、神も彼の中に住んでおられます。マタイ5:44-45 しかし、私はあなたがたに言う。あなたがたの敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。それは、あなたがたが、天におられるあなたがたの父の子となるためである。なぜなら父は、邪悪な者にも善なる者にも彼の太陽を昇らせ、正しい者にも不正な者にも雨を降らせてくださるからである。エペソ3:19 そして、知識を超越したキリストの愛を知ることができるように。また、あなたがたが満たされて、神の全豊満へと至るように。

ときどき私たちは狭い、限定された方法で、ある程度の兄弟愛をもって兄弟たちを愛するかもしれませんが。私たちの愛において、私たちはえり好みを持ち、ある兄弟を他の人以上に愛するかもしれませんが。私たちはすべての聖徒を愛すると主張するかもしれませんが、彼らに対する私たちの愛は同じではありません。ペテロは聖徒たちの間の状況を経験し、知っていたので、兄弟愛にとどめないで、さらに進んで愛、「アガペー」、父なる神が全人類、信者と罪人の両方を愛される深く高貴な愛について語ったのです。

私たちは自分の兄弟だけでなく、自分の敵をも愛すべきです。だれかが自分の兄弟を愛するには、多くの力やエネルギーはいりません。しかし私たちの敵を愛するには、確かに特別な力とエネルギーがいります。

OL3:私たちは勤勉になって、神聖な命と神聖な性質との成長と発展を追い求め、永遠の王国へと豊かに入るべきです。IIペテロ1:10-11 こういうわけで、兄弟たちよ、さらに勤勉になって、あなたがたの召しと選びを堅固なものとしなさい。これらの事柄を行なうなら、あなたがたは決してつまずくことはありません。このようにして、あなたがたは豊かに、あふれるばかりに供給されて、私たちの主また救い主イエス・キリストの永遠の王国へと入るのです。

私たちが神聖な命と神聖な性質の発展において享受する満ちあふれる供給は、私たちをあふれるばかりに供給して、私たちの主の永遠の王国へと豊かに入らせます。それは、神の輝く栄光に至る私たちの卓越した美德としての、神聖な命と神聖な性質のすべての豊富によって、私たちが来たるべき王国へと入ることができるようにし、資格づけます。

この節の永遠の王国は、私たちの主また救い主イエス・キリストに与えられた神の王国を言っています。それは、彼の再来の時に出現します。この王国は、彼の忠信な信者たちへの褒賞です。

適用:奉仕者編

神聖な種は発展し、兄弟愛と愛という花を咲かせます。アガペーの愛は神の永遠の愛であり、兄弟愛よりも更に高貴です。あなたは兄弟愛を持っていてもえり好みを持って愛しているかもしれません。新人を顧みる時、あるいは兄弟姉妹と交わりをする時、あなたは自分のえり好みに従って顧みや交わりを実行してはいけません。神のエコノミーの核は、「私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです」(ガラテヤ2:20)です。あなたは自分の好みに従って奉仕や交わりをするのではなく、神に従って、神の愛に従って実行してください。

例えば、姉妹たちの古い人は気の合う人たちと集まることを好んだり、気の合う新人を顧みたがったりします。このような天然の愛情は蜜であり、召会生活に持ち込んではいけなものです。天然の愛情は天然のグループを形成し、他のグループに対して競争心を持つようになります。このようなことは召会の一を破壊し、主の臨在を失わせます。あなたは神の永遠の愛の中で、からだの交わりの中で、聖霊の導きに従い、兄弟姉妹と組み合わされて新人を顧みてください。

また、兄弟たちの古い人は思いの中の頑固さや固定観念の問題があります。主の命が霊から魂に広がるのは、思いの更新を通してです。思いが更新されなければ、感情や意志は造り変えられることができません。IIペテロ1章の神聖な種の発展:信仰⇒美德⇒知識⇒自制⇒忍耐⇒敬虔⇒兄弟愛⇒愛の成長と発展をとどめるのは、思いの中の頑固さや固定観念です。日本の社会は年功序列と男尊女卑の観念が非常に強いです。最近の男女平等指数の国際的な調査によると、156か国の内、120番(2021年)です。このような状況下で、日本の地方召会が文化の影響を離れなければ、姉妹たちの活躍を引き出すことはできません。日本人は頑固なので、このような調査結果を見て、「恥ずかしく思い急いで改善しなければならぬ」とは考えません。また島国根性が強く、偏見が強いので、中国人、韓国人、アフリカ人などの海外の人材を用いたがりません。しかし一人の新しい人の中には、人種の区別はありません。使徒13:1 さて、アンテオケの地に在る召会には、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどの、預言者たちと教える者たちがいた。FN:ここに記録された五人の預言者と教える者は、それぞれ異なる背景、教育、身分を持つユダヤ人と異邦人から成っています。これは、召会が背景に関係なく、あらゆる人種、あらゆる階級の人から成っていること、そしてキリストのからだの肢体に与えられた霊的賜物と機能は、生まれながらの身分に基づいていないことを示しています。祈り:おお主イエスよ、私の内側にある神聖な種の究極の発展は、アガペーの愛、神の永遠の愛の開花です。神聖な命と性質の成長と発展を追い求めれば、豊かに永遠の王国へと入ることができます。自分の好みに従って奉仕や交わりをするのではなく、神の愛に従って実行します。また思いの中の頑固さがあると神聖な種は発展できなくなってしまう。私の思いを更新してください。